

# 平成24年第2回定例会

## 一般質問

～ 通告書順 ～

日付	順 番	議 員 名	党 名
6 月 20 日	1	佐藤 弘信	無 所 属
	2	佐川 勇司	無 所 属
	3	岡部 淳一	日本共産党
	4	高木 節男	無 所 属
	5	佐藤 一夫	無 所 属

## 古殿町議会

順序	質問者	質問事項	要 旨
1	3 番 佐藤 弘信	1. 廃屋・空き家の現状 と今後の対策について  (答弁者：町 長)	(1) 我が町における廃屋・空き家の状況はどのようになっているか。 (2) 調査の結果からどのような印象を持たれるか。 (3) 再利活用可能な空き家について、町ではどのような対応をしているか。 (4) 空き家が増えるということは、過疎化が進行していくことです。積極的に物件情報を収集し、空き家バンクをホームページ上につくり、地域外から新たに居住者を呼び込み人口減少の歯止めになればと思うが、どう考えるか。 (5) 町には、廃屋に関する苦情・相談等もたらされたことはあるか。 (6) 廃屋の解体に対して、補助・融資等の政策は可能か。 (7) 所有者から建物や土地を町に寄付があった場合、町で建物の解体をする方法は可能か。
2	4 番 佐川 勇司	1. 道の駅(おふくろの 駅)活性化について  (答弁者：町 長)	(1) 震災・原発・いわき市との幹線路規制等の影響を含め、1年以上が経過しましたが、経営販売はどのような状況か。 (2) 直売所現状の売り場面積として、利用者からの苦情等はあるか。 (3) 直売所の外部(犬走り)と内部の土間凹凸は早急に修繕すべきと思うがどうか。 (4) 今後の活性化を考え、取得用地を十分活用し、「休憩機能・情報発信機能」の場として、整備が必要と思うがどうか。
3	7 番 岡部 淳一	1. 24年度予算と執行、国県予算との 関連について  (答弁者：町 長)	(1) 昨年度、国県との関係において、震災関連で措置された事業と予算額は、また町単独での予算措置は。 (2) 今年度考えられる国県の助成事業や補助事業について、どうみているのか。 (3) 町に関連する通常の公共工事、震災関連工事について、具体的になっている計画はあるのか。 (4) 直接的に道の駅に関する予算措置はないと思うが、今後必要性が発生することはないのか。また現在の利用状況及び利用拡大の具体策は。

順序	質問者	質問事項	要 旨
3	7 番 岡部 淳一	<b>2. 原発事故による放射能汚染に関わる諸問題について</b>  (答弁者：町長・教育長)	(1) 町除染計画の現在までの取り組み内容と実情、今後の具体は。 (2) こりまでの放射能関連予算と今後の予算措置は。 (3) 具体的な賠償の現状と賠償請求に関する状況把握は。 (4) 子供たちの健康調査、特に甲状腺の検査体制は。またホールボディカウンターの利用状況と結果把握は。 (5) 小中学校での原発事故や放射能教育はどう進められているのか。 (6) 原発事故・放射能に関する町ホームページでの情報公開はどう対処しているのか。
		<b>3. 古殿町の農業を取り巻く状況と対策</b>  (答弁者：町 長)	(1) 今年度稲作の放射線対応は、カリやゼオライトの配布による対策が講じられているが収穫まで不安な管理の日々が続きます。収穫した段階で全袋検査を実施すると県が発表し実施方法が概ね明らかとなったが、その実施内容について多くの問題点が指摘されている。そこでわが町の全袋検査はどのような体制で実施するのか伺う。 (2) 和牛繁殖農家の飼料作物については、除染した草地のものを測定し、基準値以下のものについては利用できるとしながらも、実状はそう簡単なものでなく町においても自粛とされています。その状況下でエサの供給は畜産団体が供給するものと個人買い入れでの対応となっており、今後の見通しに大きな不安を抱えての繁殖飼育体制となっているのが現状です。そこで、飼料作物の利用実態とエサの供給について県から受けている指導はどんな内容なのか。町としては農家にどんな指導をしているのか。買いエサの金銭的負担に対してはどんな考えを持っているのか。また畜産業の今後の見通しについてどんな展望を持っているのか伺う。
		<b>4. 幼保一体施設建設と運営の在り方</b>  (答弁者：町 長)	(1) 子ども・子育て新システム、総合こども園構想についての認識は。 (2) 一体化に伴う保育メリットをどう考えているのか。 (3) 施設内容、特にこだわっているの点は何か。 (4) 一体に向けた対応について、内部での取り組みと今後の組織体制は。 (5) 給食についての考え方は。 (6) 送迎バス運行は視野に入れているのか。

順序	質問者	質問事項	要 旨
4	高木 節男	<p><b>1. 過疎対策と地域づくりについて</b></p> <p>(答弁者：町 長)</p>	<p>(1) 定住人口の推移を町づくりのビジョンの中でどのように捉えているのか。また、定住人口の確保の課題や、そのための施策はあるのか。</p> <p>(2) 幸いわが町は、放射線量が県内では比較的低い地域であり、交流人口や定住人口を増やす条件は恵まれていると思うが、どのように考えているか。</p> <p>(3) 観光産業の充実などで、交流人口を増加させる施策などがあるのか。</p> <p>(4) おふくろの駅の施設の整備充実などの計画はどうなっているのか。</p> <p>(5) 流鏝馬の町として、イメージキャラクターが作成されたが、行事がない時に訪れる観光客にも流鏝馬を楽しめるような計画などはあるのか。</p> <p>(6) 森林の町づくりの中で、旧大原小学校跡地に新林を活用したシステム構築のため、林業関連施設建設のための協議会を立ち上げ検討するとのことでしたが、協議会の進捗状況は。</p> <p>(7) 協議会の中では、橋の拡張工事なども協議内容に取り入れるのか。</p> <p>(8) 地場製品の風評や放射能対策はどのようになされているのか。</p> <p>(9) 農産物の放射能検査の状況は。</p>
5	11番 佐藤 一夫	<p><b>1. 第5次介護保険事業計画について</b></p> <p>(答弁者：町 長)</p> <p><b>2. 東日本大震災及び原発事故による復旧・復興に向け、国・県・東京電力に、どのような姿勢で臨むのか</b></p> <p>(答弁者：町 長)</p>	<p>(1) 介護サービスはいくつかの形態があるが、町の特徴はなにか。</p> <p>(2) 石川福祉会の増床事業、町内新設の老健施設等による、給付額の見込みについて、計画と実態の整合性は。</p> <p>(3) 介護保険料の試算額については、基金の取り崩し等を実施しても、値上げの状況であるが3年間の見通しは。</p> <p>(4) 今後の対策として、高齢者に関わらず、町民すべての健康を維持する施策に重点を置くべきと思うが考えは。</p> <p>(1) 放射能汚染の影響は、生活・産業・環境の全てにおいて多大なる損害・苦悩をもたらしています。町は一つ一つの対策を確実に実施すべき努力をしていますが、この問題は1自治体が対応できる事態ではありません。仮置場の1例でも、様々な規制や所管の対応が適切でない聞き、国県、東京電力に相当強い姿勢・態度で臨む必要があります。復旧・復興に向けた、町長の今までの取り組みと今後の姿勢について伺います。</p>